

授業科目 (科目ID)	職業関連活動	担当教員  (実務経験)	藤田 修靖  道内精神科病院・就労支援施設において作業療法士として14年勤務		
対象年次・学期	3年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	障害者に対する職業リハビリテーションの全体像を把握するとともに作業療法士の役割について知る。				
到達目標	障害者の就労支援の具体的方法について理解する。作業療法士としての就労支援について理解する。				
テキスト・参考図書等	作業療法学全書 第12巻改定第3版 職業関連活動(協同医書) 障害のある人の雇用・就労支援Q&A 障害者の雇用支援のために				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験により評定する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	就労支援関連施設についての知識を増やし、医療、保健、福祉場面との連携の基礎として欲しい。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	授業概要について、国家試験過去問題解説		
	2	人と職業①	職業とは、職業の意義、人が職業に求めるもの(マズローの欲求階層説)、職業観と勤労観、産業について(第1～3次産業)		
	3	人と職業②	人の職業的発達(Superによる職業生活段階)、職業関連活動とは		
	4	障害者の就労	職業リハビリテーションの定義、職リハの対象と其々の障害特性と職業的課題		
	5	職リハにおけるOTの役割とジョブコーチ	評価技術的役割、対象者に対する役割、他の専門職に対する役割、ジョブコーチの役割		
	6	就労支援施設の概要	ハローワーク、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労支援事業所、第1号職場適応援助者徐栄金受給資格認定法人		
	7	就労支援施設の実際	就労支援事業所における就労支援とOT		
	8	労働基準法	労働条件の明示、就業規則、労働時間、休憩・休日、有給休暇、		
	9	障害者雇用の促進	最低賃金、最低賃金除外制度、障害者雇用率制度、障害者雇用納付金制度、事業主への各種助成制度		
	10	職業関連活動における評価①	評価の流れ、能力の評価法		
	11	職業関連活動における評価②	厚生労働省編 一般職業適性検査(紙筆検査)		
	12	職業関連活動における評価③	厚生労働省編 一般職業適性検査(器具検査)		
	13	職業関連活動における評価④	職業レディネステスト、職業興味検査、内田クレペリン精神作業検査		
	14	職業関連活動における評価⑤	ワークサンプル法(タワー法、マイクロタワー法、箱作りテスト)		
15	職業関連活動における評価⑥	標準時間設定法(PTS法、MODAPTS法、ワーカビリティテスト)			

授業科目 (科目ID)	作業療法技術論実習		担当教員	目黒 文彦		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
対象年次・学期	3年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	自助具作製、スプリント作製など作業療法実践に必要な基本的技術を習得すると共に、それらをどのように役立てるべきかを考えられるようになる。リハビリテーションの職種として必要な車いすに関する知識を習得する。					
到達目標	症状を想定してそれを補う自助具を作成できる 基本的なスプリント作成の技術を有する 褥瘡発生の機序を理解しシーティングの知識をもつ 車いす処方の基礎知識をもつ					
テキスト・参考図書等	写真でみる 基本スプリントの作り方					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の留意事項	製作体験を通して、対象者へのサービスの難しさ、楽しさなどを感じ取ってください。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	自助具作製	自助具の意味や種類を知る。			
	2	自助具作製	自助具作製技術の基本を学び、グループにて脳卒中対象者の自助具を考案する。			
	3	自助具作製	自助具作製技術の基本を学び、グループにて脳卒中対象者の自助具を考案する。			
	4	自助具作製	考案した自助具を作製する。			
	5	自助具作製	考案した自助具を作製する。			
	6	自助具作製	作成した自助具の使用方をプレゼンテーションしたうえで、フィードバックをもらう			
	7	スプリント作製	スプリント作製方法の基礎を習得、材料、用具、適応の知識をもつ 手指リングスプリントの作製			
	8	スプリント作製	コックアップスプリントの作成			
	9	スプリント作製	コックアップスプリントの作成			
	10	スプリント作製	コックアップスプリントの作成			
	11	スプリント作製	上肢スプリントの意義を理解したうえで、代表的な上肢スプリントについての理解を深め、各自製作を通しスプリント製作の手順を学ぶ。			
	12	車いすシーティングと車いすクッションの作製	人が座るとい意味、座位姿勢と身体機能の関係、作業療法士がシーティングに携わる意味			
	13	車いすシーティングと車いすクッションの作製	褥瘡が生じる機序とその予防策を理解する			
	14	車いすシーティングと車いすクッションの作製	車いす用クッションの種類と特徴を知る			
15	車いすシーティングと車いすクッションの作製	ウレタンフォームを使った車いす用クッション作成の基本的手順を学ぶ。				

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	車いすシーティングと車いすクッションの作製	ウレタンフォームを使った車いす用クッション作成の基本的手順を学ぶ。
	17	車いすシーティングと車いすクッションの作製	ウレタンフォームを使った車いす用クッション作成の基本的手順を学ぶ。
	18	車いすについて	車いすの採寸の仕方、申請手続きなどの車いすに関する一連の知識を深める。
	19	車いすについて	車いすの採寸の仕方、申請手続きなどの車いすに関する一連の知識を深める。
	20	車いすについて	車いすの採寸の仕方、申請手続きなどの車いすに関する一連の知識を深める。
	21	車いすについて	車いすの採寸の仕方、申請手続きなどの車いすに関する一連の知識を深める。
	22	車いすについて	車いすの採寸の仕方、申請手続きなどの車いすに関する一連の知識を深める。
	23	車いすについて	車いすの採寸の仕方、申請手続きなどの車いすに関する一連の知識を深める。



授業科目 (科目ID)	作業療法演習Ⅱ		担当教員  (実務経験)	和田 英峰  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として8年勤務		
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	評価実習に先立って、対象者評価から目標設定までの流れをペーパー上の症例を用いて体験する。評価項目チェックリスト作成、評価結果のまとめ、ICF分類、目標設定とそこに至る思考過程を表出する練習を行う。					
到達目標	評価実習に向けて、身体障害分野、精神障害分野両分野における、情報収集の方法、評価結果のまとめ方、ICF分類と作業療法目標設定が可能になる。					
テキスト・参考図書等	特に指定はしない					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	提出課題90%、振り返り用紙課題10%で評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	100%				
その他	%					
履修上の留意事項	症例情報の読み込みが必要である。学んだ知識や理解を総動員して対象者イメージを膨らませてほしい。また、毎回の課題提出が求められます。評価実習をイメージして各自しっかりと取り組むことを期待する。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション・精神障がい分野①	オリエンテーション、精神障がい領域の症例検討とグループ検討			
	2	精神障がい分野②	精神障がい領域の症例検討とグループ検討			
	3	精神障がい分野③	精神障がい領域の症例検討とグループ検討			
	4	精神障がい分野④	精神障がい領域の症例検討とグループ検討			
	5	身体障がい分野①	身体障がい領域の症例検討とグループ検討			
	6	身体障がい分野②	身体障がい領域の症例検討とグループ検討			
	7	身体障がい分野③	身体障がい領域の症例検討とグループ検討			
	8	身体障がい分野④	身体障がい領域の症例検討とグループ検討			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						



授業科目 (科目ID)	作業療法演習Ⅲ  23o317		担当教員  (実務経験)	和田 英峰  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として8年勤務	
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必須	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	1、2年で学習した評価技術の振り返りと臨床場面を想定した対応のしかたや工夫について検討し、実習前に習得、実習前実技試験につなげていくことを目的とする。				
到達目標	実習前試験に向けて、合格基準を超える水準まで評価手技に関する知識と理解、実践技術を高める。				
テキスト・参考図書等	作業療法技術ガイド、標準作業療法学 作業療法評価学、他、作業療法評価法で使用した教科書、資料等を利用する				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	成績評価には、実習前試験の得点が反映される		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	さまざまな疾患・障害に対して、柔軟な思考で作業療法の流れを学んでいきます。臨床実習に向けた学習力を養い、4年生につなげていきます。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション、動作分析について	学習内容の目的や今後の流れについて理解する。また、立ち上がりの動作分析の仕方を学習する。		
	2	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、ROM-T(1)		
	3	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、ROM-T(2)		
	4	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、MMT(1)		
	5	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、MMT(2)		
	6	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、反射検査(深部腱反射・病的反射)		
	7	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、片麻痺機能検査		
	8	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、感覚(痛覚・位置覚)		
	9	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術、起き上がり・移乗動作等の基本技術について		
	10	評価技術(1)	身体障害領域での評価技術まとめ		
	11	評価技術(2)	精神障害領域での評価技術 インテーク面接		
	12	評価技術(2)	精神障害領域での評価技術 情報収集面接(1)		
	13	評価技術(2)	精神障害領域での評価技術 情報収集面接(2)		
	14	評価技術(2)	精神障害領域での評価技術 作業導入・作業教授		
15	評価技術(2)	精神障害領域での評価技術 まとめ			

授業科目 (科目ID)	作業療法演習Ⅲ  23o317	担当教員  (実務経験)	小熊 真喜子  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
対象年次・学期	3年・前期	担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
授業形態	演習	担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>



授業科目 (科目ID)	臨床実習Ⅱ	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	3年・後期	担当教員	目黒 文彦
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員	和田 英峰
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として8年勤務
		担当教員	水尻 恵利加
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員	山田 里見
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
		担当教員	小熊 真喜子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	地域作業療法学 I		担当教員  (実務経験)	和田 英峰  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として8年勤務		
対象年次・学期	3年・後期		必修・選択区分	必須	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	「地域」や「社会」についての基本的な理解を深める。地域作業療法実施における必要な制度を理解する。社会保障制度外の作業療法対象についても理解を深め、臨床実習Ⅲに臨む。					
到達目標	地域作業療法に関する介護保険制度や生活行為向上マネジメントに関する知識を有するようになる。					
テキスト・ 参考図書等	作業療法学全書 地域作業療法学(第3版)、事例で学ぶ 生活行為向上マネジメント					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	地域、社会の中で医療従事者である作業療法士はどのような働きができるでしょうか。講義形式で進める中で発問の機会を設け、クラス内の共有を増やします。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	社会と参加(役割)について考える。地域とは何か、地域が人にもたらす影響を理解する。			
	2	介護保険制度の概論	介護保険制度について理解する。制度をどのように利用し、地域資源となっているか理解する			
	3	地域包括ケアシステムの概論	地域包括ケアシステムについて理解する。システムをどのように利用し、地域資源となっているか理解する。			
	4	生活行為向上マネジメントの概論①	MTDLPの概要を理解し、作業療法士として治療プログラム立案までの思考過程を学ぶ。また、地域での活用されるべき視点についての理解を深める。			
	5	生活行為向上マネジメントの概論②	MTDLPの概要を理解し、作業療法士として治療プログラム立案までの思考過程を学ぶ。また、地域での活用されるべき視点についての理解を深める。			
	6	チームマネジメント①	地域に暮らす人々の悩みを知る。チームワークの必要性とその中で作業療法士がどのような役割を持つのか考える。			
	7	チームマネジメント②	地域に暮らす人々の悩みを知る。チームワークの必要性とその中で作業療法士がどのような役割を持つのか考える。			
	8	チームマネジメント③	地域に暮らす人々の悩みを知る。チームワークの必要性とその中で作業療法士がどのような役割を持つのか考える。			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						



授業科目 (科目ID)	地域リハビリテーション実習	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	3年・後期	担当教員	目黒 文彦
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員  (実務経験)	和田 英峰  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として8年勤務
		担当教員  (実務経験)	小熊 真喜子  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
		担当教員  (実務経験)	水尻 恵利伽  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員  (実務経験)	山田 里見  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として6年勤務
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	生活環境論(OT)	担当教員  (実務経験)	水尻 恵利伽  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として5年勤務		
対象年次・学期	3年・前期	必修・選択区分		単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	①障害者・高齢者の生活を支援するための生活環境を包括的に捉えるための基本的知識について学ぶ。、②住環境の評価と物的改善技術の知識関連について学ぶ。				
到達目標	障害者や高齢者を支援するための生活環境に関する知識を学び、説明出来るようになる。				
テキスト・ 参考図書等	OT・PTのための住環境整備論(第3版)、住宅改造マニュアル(Part2)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	演習課題の提出		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	高齢者や障害者の健康を予防維持していくためには医療だけではなく、衣食住や良好な環境を整えていく必要がある。健康をデザインすることを考えていく。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	住環境整備概論		
	2	住環境整備論	介護保険制度との関連等住環境におけるOTの役割		
	3	福祉用具概要	福祉用具(日常生活用具、補装具)の概要(分類、種類、適応、自助具など)		
	4	福祉機器の校外見学	社会福祉協議会 福祉用具展示ホールの見学		
	5	福祉機器の校外見学	社会福祉協議会 福祉用具展示ホールの見学		
	6	福祉車両の校外見学	TOYOTA「ハートフルプラザ」の見学		
	7	福祉車両の校外見学	TOYOTA「ハートフルプラザ」の見学		
	8	高齢者に対する住環境整備	高齢者の生活特性の理解と住環境整備		
	9	障害者の生活特性と住環境整備	障害者(CVA・パーキンソン病・関節リウマチ)の生活特性と住環境整備		
	10	障害者の生活特性と住環境整備	障害者(CVA・パーキンソン病・関節リウマチ)の生活特性と住環境整備		
	11	環境整備の基本的考え方	建築面の基礎知識、住宅改修の計画・立案、図面の基礎知識、住宅改修の図案など		
	12	環境整備の基本的考え方	建築面の基礎知識、住宅改修の計画・立案、図面の基礎知識、住宅改修の図案など		
	13	環境整備の基本的考え方	建築面の基礎知識、住宅改修の計画・立案、図面の基礎知識、住宅改修の図案など		
	14	環境整備の基本的考え方	建築面の基礎知識、住宅改修の計画・立案、図面の基礎知識、住宅改修の図案など		
15	住環境整備論まとめ	OT・PTの役割と基本姿勢、チェックシートの活用等			



授業科目 (科目ID)	チーム関係論	担当教員  (実務経験)	目黒 文彦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として14年勤務		
対象年次・学期	3年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を学び、関連他職種に対する理解を深める。				
到達目標	リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を理解する。				
テキスト・ 参考図書等	特に指定しません				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出課題の内容により評価		
	レポート	100%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	良質のリハビリテーションサービスの提供には、関係職種との連携が不可欠であり、そのためには各職種の役割を理解する必要がある。関連職種の講義内容はレポートにまとめておくこと。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	チームアプローチ	リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を知る		
	2	職種間の相互理解	理学療法士と作業療法士の相互理解が連携の基礎であることを知る		
	3	医療ソーシャルワーカーとは	医療ソーシャルワーカーの仕事、チームワーク		
	4	理学療法士とは	理学療法士の仕事、チームワーク		
	5	作業療法士とは	作業療法士の仕事、チームワーク		
	6	言語聴覚士とは	言語聴覚士の仕事、チームワーク		
	7	看護師とは	看護師の仕事、チームワーク		
	8	チーム連携のありかた	グループ討議とまとめを通じて連携の重要性への理解を深める		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

授業科目 (科目ID)	チーム関係論	担当教員  (実務経験)	竹中 謙将  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で7年、理学療法士として勤務
対象年次・学期	3年・前期	担当教員	和田 英峰
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内病院にて作業療法士として8年勤務
		担当教員	佐々木 勇輝
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内児童福祉施設にて言語聴覚士として6年間勤務
		担当教員	齋藤 麻衣子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて看護師として4年勤務
		担当教員	綾部 潤和
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて医療ソーシャルワーカーとして勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>